関西文化学術研究都市での最先端研究の推進について

【担当省庁】内閣府、文部科学省、国土交通省

WITH・POSTコロナ社会にふさわしいスマートシティの実現を目指す関西文化学術研究都市において、大学や研究機関等あらゆる主体が相互に交流し、イノベーションの創出に一層取り組めるよう、以下のとおり対応をお願いしたい。

○関西文化学術研究都市の基本方針として掲げる「世界の異なる文化との交流・融合による新しい文化の創造・発信」の理念に基づき、これまで培ってきた産官学住の交流文化の強みを先端技術で強化し、健康、教育等に関する社会課題の解決を図るため、**関西文化学術研究都市をスーパーシティとする特別区域に指定**

○けいはんなリサーチコンプレックス事業（平成28年度～令和元年度）において構築されたグローバル・イノベーション・エコシステムを基礎に、産学官共創拠点の形成に向けて奈良先端科学技術大学院大学などとの連携を強化しており、**その取組を更に推進するため、共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）における本都市からの提案の採択**

○また、理化学研究所における疾患特異的iPS細胞の利活用の促進を目的として**iPS細胞創薬基盤開発連携拠点**の機能強化及び人とAI・ロボットが柔軟に共存する未来社会に向けた**「ガーディアンロボットプロジェクト」による分野融合研究の更なる推進のための支援**

○**「関西文化学術研究都市建設促進法」等について、**これまでの本都市での研究機関整備や住宅開発の成果を活かして、**本都市の拡張も視野に、**より未来の新たな住宅・都市づくりを進めるため、**本都市の現状と時代潮流を踏まえた内容への改正**

【現状・課題等】

■令和元年５月に国土交通省のモデル事業として採択された「スマートけいはんなプロジェクト」では、令和２年度にも３つの実証実験を行う等取組を進めてきた。これまで蓄積してきたスマートシティの取組の成果を活用し、世界に誇れる「スーパーシティ」となるよう、関係市町と連携して取組を進めているところである。

京都府の担当課	商工労働観光部 文化学術研究都市推進課(075-414-5196)

【国の事業等】

■「スーパーシティ構想」の推進〔内閣府〕 10 億円
（うち令和２年度第３次補正予算 ７億円）

▶ 関係府省庁と連携し、選定都市における先端的サービスの構築、データ連携基盤の整備、事業計画の作成支援等を実施
○令和２年 12 月～令和３年２月：京都府による事業者等からのアイデア公募
○令和３年４月：スーパーシティ公募（本申請）
○令和３年５月以降：国家戦略特区諮問会議
政令閣議決定（区域指定）

■科学技術イノベーション・システムの構築
（うち「共創の場形成支援」〔文部科学省〕 137 億円）

▶ 令和２年度から大学等を中心とした「組織」対「組織」の産学官の共創によりエコシステムを構築する「共創の場形成支援プログラム」を開始
▶ 公募スケジュール（予定）
令和３年７月６日（火）：公募締切
令和３年９月頃：審査結果通知
令和３年 10 月以降：研究開発開始

【京都府の取組】

■スマートけいはんなプロジェクトの状況

▶ 令和２年度取組状況
○ラストワンマイル対策の実証実験（マイカー利用の低減、外出機会の創出）
○オープン型宅配ボックス（再配達コスト・CO2 の削減）
○デジタルツイン（仮想空間で上記サービスの利用状況を可視化）
▶ 令和３年度取組
○ラストワンマイル対策の実証実験（実証地域拡大）

■関西文化学術研究都市におけるスタートアップ支援

▶ グローバルスタートアップ企業の自立化に向けた「けいはんなグローバルアクセラレーションプログラムPLUS (KGAP+)」を構築し、WITH・POSTコロナ社会におけるイノベーション創出に挑戦するスタートアップを支援する取組を実施
▶ 取組成果を活用発展するため、令和２年６月、「けいはんなRC推進協議会」発足
▶ 令和２年７月、世界に伍するスタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市に選定